

## 抄録

デンタルワークス代表 手塚紀久

私は、開業して約 10 年になるが当初はほぼ保険のみを行う技工所だった。いわゆる納期に追われ数をこなすその日乗り越えることが精一杯の苦しい生活をおくっていた。しかし、そんな日々の中でもいつかは自費のみを行える技工所を目指していた。

5 年程が経過し、高性能なポーセレンファーンエスを購入しようと考えた時に新しい素材であった e.max に出会った。まだまだプレスセラミックスが一般的に認知されておらず金属の高騰もあり、これからはメタルフリーの時代が来るのではないかと直感しイボクラールビバデントの講習を受け、それが確信へと変わり即導入となった。

導入当初は、情報も少なく自分なりに試行錯誤と数々の失敗を繰り返しながらインゴットの選択やステン、レイヤリングの方法を習得でき、現在ではほぼ自費のみを行う技工所へと変わることができた。

これらのことを私が実際に行った口腔内写真を用いて説明し、それに併せてセット時のチェアサイドにおけるセメントの色調選択に付いても説明したいと思う。

おまけになるが、変わることができた要因のもう一つに友人達との出会いがあり、一人技工所では籠りがちになってしまう日常から日々刺激を受けつつ楽しく歯科技工士生活を送れていることもお話しできたらと思う。